

1月17日
鳥羽市議会と交流



鳥羽市議会議員13人が田原市を訪問。堀切津波避難マウンドなど津波対策施設や中央図書館を合同で視察し、交流を図りました。

1月12日
総務産業委員会 市内視察



谷ノ口公園、赤羽根土地区画整理事業用地、旧伊良湖小学校などを視察しました。

1月11日
文教厚生委員会 市内視察



六連小学校（英語活動）、あおぞら園、蔵王こども園、田原授産所などを視察しました。

2月13日
愛知県後期高齢者医療
広域連合議会



平成30年度予算などが議決されました。田原市議会代表の森下田嘉治議員が出席しました。

2月7日・8日
東三河広域連合議会



平成30年度予算などが議決されました。田原市議会選出の太田由紀夫議員と長神隆士議員が出席しました。長神議員は一般質問を行いました。

1月18日
普通救命講習



急病の方や負傷した方の応急処置の方法（AEDの使い方）を学びました。議員は2年に1回、普通救命講習を受講しています。

田原市議会業務継続計画（議会BCP）を策定しました



東日本大震災の時、議会が議決すべき事項を、特定の場合に限り市長が議会に代わって処理できる「専決処分」が頻繁に行われ、議会の基本的な機能が果たされなかった経緯と教訓から、議会改革特別委員会（設置期間：平成25年12月18日～平成26年12月16日）がまとめた「議会改革に関する報告書」のなかで、災害時などに行うべき議会・議員の役割や行動方針を定めた「議会BCP」の検討が必要と提言されていたことによるものです。策定にあたっては、議会運営委員会が主体となり、平成28年11月以降先進地事例調査や防災訓練の実施、また、7回にわたる検討会などで協議を重ね、平成30年3月19日、委員会がまとめた計画書案を委員長から議長に提出しました。

そして、同年3月22日、議長が示した計画書案に全議員が同意し、「田原市議会業務継続計画」を策定しました。本市議会では、これまで意欲的に進めてきた「議会ICT化」の取り組み内容を積極的に取り入れ、迅速かつ正確な災害情報などの収集・伝達・共有が可能な仕組みを構築するなど、効率的で実用性の高い計画となるよう努めてきました。

今後、いつ大規模災害が発生しても計画に基づき即座に行動を開始できるよう、地震被害想定の見直しや社会動向などの変化に合わせ取り組み内容の見直しを行うとともに、定期的に防災訓練を実施し、議会の責務を継続して果たせるよう力を尽くします。

計画の内容は、田原市議会HPをご覧ください。

